

1 自己評価及び外部評価結果 (れんげ棟)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2191600010		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	愛の家グループホームみずなみ (れんげ棟)		
所在地	岐阜県瑞浪市西小田町3-122		
自己評価作成日	平成22年 7月25日	評価結果市町村受理日	平成22年10月 4日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaiqosip/infomationPublic.do?JCD=2191600010&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター		
所在地	岐阜県関市市市賀大知洞566-1		
訪問調査日	平成22年 8月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

れんげ棟は「笑いの和で楽しい毎日」と掲げ御利用者とスタッフの会話のなかにも、笑顔 笑い声が絶えません。毎日御利用者と共に過ごす中で個別ケアを常に心がけその人らしい生活を大切に、その人に合った生活の援助をさせていただいております。同時に御家族様との関係も良好でいつも冗談を交わしながらコミュニケーションを図っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者やスタッフにホームの好きな場所はどこですか？と質問したところ、「玄関の風景です」と答えが返ってきた。玄関から見た風景は、確かに温かく迎えてくれる雰囲気と温かさがあって、ホームの代々の理念には必ず「笑」の文字を入れている。「笑って明るい毎日を暮らしたい」という職員の思いが込められている。地域との連携も以前より充実している。ボランティアの来訪も多く、毎年恒例の収穫祭では地域の協力もあり小学校から椅子や机を借りることも可能になった。また、小学生のころにボランティアに訪れた子どもたちが成長して利用者に会いに来た事例がある。地域との連携を継続して、一歩ずつ地域と強いきずなを構築していくことを期待したい。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げ、毎日唱和し職員全員で共有しています。「あふれる笑顔で共にしあわせ！」をモットーにケアの実践をはかり地域との関わりを多く持ち安心して生活できるよう支えています。	ホームの理念をより具体化するために、新しい理念を作成している。職員間で協議し、以前の理念の中にもあった「笑」の文字を大切に残留してホームの強みを表現している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に散歩や買い物に出かけ挨拶を交わし会話を楽しんだり、畑の作物の収穫をおすそわけし、反対に頂いたり、お話し相手に来られる方もみえます。	ホームには日頃より、傾聴・草刈りボランティア等来訪者も多い。秋には、ボランティアや民生委員等との協力を得て収穫祭を開催している。公民館を借りて地域のボランティアと準備を行い、地域の年中行事として盛り上げようと奮闘している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所や職員は事業所での実践ケア内容を踏まえ様々な研修や会合に関わり、認知症への理解と、ケアの啓発に努めています。小学生の社会活動、中学生の実習の受け入れを積極的に行っております。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所からの報告、参加者からの質問・意見・要望を聞いております。また、評価結果を報告し、意見を頂くようにしております。	運営推進会議メンバーから収穫祭の運営等、アイデアを発言するだけでなく、メンバー自身が動いてホームの活性化に協力している。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	小さな事故でも報告書の提出を行い、定期的に事業所の状態をお伝えし、施設見学をしていただいたりケアプランの相談をしつつ運営やサービスの質の向上、課題解決に向けての協議を行い交流を図っております。	管理者が市役所へ出かけた際には、必ず担当課へ立ち寄りホームの状況を報告している。また、必要な地域のくらしの情報も立ち寄った際に収集している。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社としてマニュアルがあり、身体拘束についてカンファレンスや申し送りでも再認識をしています。玄関のリモコンは手の届くところにあり、状況の許す限り付き添って外出見守りを行っています。	ホーム内研修計画を立てて、定期的に身体拘束について研修している。単独外出者へは一緒に散歩するなど、可能な限り利用者の行動を見守るケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為についての認識を常に行い、虐待防止についての周知徹底を図っております。又研修も積極的に行い見過ごす事のないよう勤めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	カンファレンス等で勉強会を行い職員の理解を深めるようにしております。又研修に参加し成年後見人制度について学ぶ機会をつくり対応が必要な時御利用者の支援ができるように努めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、特に料金関係、起こりうるリスク、事業所のケアに対する考え方や取り組み(医療連携体制等)について詳しく説明し、同意を得るようにしております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御利用者の言葉や態度から思いを汲み取るように努め御利用者本意のサービスを心がけております。御利用者の不安や希望を理解し、思いに添えるようにユニットごとに話し合いの機会を設けております。	家族の来訪が多いこともあり、職員が家族から直接意見を聞いている。また家族アンケートには、「対応・連絡が早い」「感謝している」との声が上がっている。	利用料の支払い方法に変更があったために、家族が困惑している意見がアンケートに寄せられている。家族への的確な援助・説明を行い、さらなる信用の確立を期待したい。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスを月1回行い、意見を聞く場にしております。また、日ごろからコミュニケーションを図るように声かけを行い、職員の要望や意見を聞くようにしております。	申し送りノートへ意見や検討結果等を書き込み、スタッフ間で共有している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会社は社員の日ごろの努力や実績勤務を把握し、表彰や金券の進呈を行い努力への評価を行っており、向上心を持って働ける配慮をしております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会や研修会開催の情報を職員に提示し、積極的に参加してもらい、得られた情報をカンファレンス等報告しております。会社の研修や随時行われ順番に参加しケアの質の向上につとめております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と連絡を取りつつ、運営推進会議や行事の参加、並びに運営やケアプランについての相談等行っております。他のグループホームの見学を通じて意見の交換を行いサービスの質の向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	他職種の方から情報を集めた後、御本人にお会いして心身の状態や思いが表出できるような声かけに勤め、御本人の入居の意思を必ず確認して、不安の軽減を図る工夫をしております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御相談される御家族の思いを出きただけ理解し、ホームとして対応について事前にしっかり話し合う時間を設けております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、会社組織としてできることの可能性について提案させていただきます。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者とのコミュニケーションを大切にしその人らしい笑顔を大切に共に有意義な1日を過せるよう、努めております。又、協働作業を行う場面も多くもてるような工夫や声かけの配慮をしております。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は御家族の思いをできる限り理解させていただき、生活の中での出来事や相談などで情報の共有に努め御利用者と一緒に支えることができるように努めております。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの環境で過される時間を大切に、なじみの友人や知人との交流もおこなえるよう動きかけております。友人の方が定期的に来訪され楽しいひとときを過されています。	収穫祭には家族の協力の元で、旧友などのなじみ深い方にも声をかけている。また偶然にも利用前はご近所同士だった利用者が暮らしている。2ユニットを行き来して、ホームの中でもご近所付き合いが継続している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に御利用者からお話を伺ったり、相談にのったり、他の御利用者様を交えて楽しむ時間や、気の合うご利用者同士で過せる時間を作り、御利用者同士の関係が円滑にいくように動きかけております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご利用中に築いた関係性を基盤にしながら、長期に継続的なかわりを行っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で言葉や状態から御利用者の思いや暮らし方の希望を把握し、理解されやすい質問で問いかける工夫をし、一人一人の思いを確認しその人らしさを失わないかわりに努めております。	利用者とは会話する中で発する言葉をわかりやすく記録に残している。利用者の要望が応えにくい内容も、記録に残して職員間で情報を共有している。	ホームがより活発化するためにも、利用者の小さな要望を職員全体で1つずつ叶えていくことを期待したい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から伺うようにしており、ご利用中も面会時などで少しずつ把握に努めております。又ユニット間で得られた情報は共有できるようにカンファレンス等で取り上げております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御利用者一人ひとり残存機能を活かすことを心がけ、その人の持つておられる得意な事を活かした働きかけをおこない、御利用者一人一人の全体像の把握につとめております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者がその人らしく暮らせるよう御利用者や御家族の要望を聞き、他職種の意見も含めてユニットスタッフと共にカンファレンスで意見交換を行い介護計画作成にいかしております。	ケース会議を開く際に、利用者家族が出席し意見交換を行う事例もある。来訪時には家族への意見を求めて、家族の声も多く取り入れたケアプラン作成を行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	関わった職員がそのつど御利用者個々のケア記録に残しており、職員が常に確認できるようにして、記録の情報共有を徹底しております。又記録で本人の状況の把握を行い介護計画の見直し、評価を実施しております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御利用者や御家族の状況に応じて通院や送迎など必要な支援を臨機に対して、個々の安心感を高めるようつとめております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	御利用者が安心して地域での暮らしを続けられるように、消防、民生委員、長寿会の方々と会食やお茶、行事等の参加を通じて地域交流を深めております。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医や、以前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、御家族と協力し、通院介助や訪問診療の対応を行い、複数の医療機関と連携をとりつつ支援しております。	家族と協力してかかりつけ医の通院介助を行っている。夜間時、緊急な場合にはホーム協力医に相談する等の連携を図っている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、医療連携体制のもと24時間、御利用者の健康管理や状態変化に応じた支援をおこなっております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーや口頭申し送りで御利用者の支援方法や情報を医療機関に提供し、頻回に職員が見舞うようにしております。御家族や医療機関と情報交換し回復状態を踏まえつつ速やかな退院支援を行っております。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における医療体制指針を作成し、入居契約時に説明をおこなっております。又、状態変化に伴いそのつど御家族、医師、看護師で話し合いをおこなっております。	家族の希望を受け入れて、終末期を迎えたケースもある。新規利用者へは、入居契約時に説明を行いホームの方針を家族へ伝えていく。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すべての職員が年に1回消防署主催の救急処置の講習会に参加している。又夜勤帯の緊急時対応についてのマニュアルを作成し、周知徹底を図っております。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年2回の消防訓練と地震発生時の避難訓練、夜間帯避難訓練を随時行っております。地域の協力体制については運営推進会議や民生委員を通して自治体に協力をお願いしております。	定期的に消防避難訓練を行っている。運営推進会議の中でメンバーに声をかけ、協力を要請している。	地域と密着したホームだからこそ、地元消防団や町内会と協力した災害対策を構築できる取り組みを応援したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護のマニュアルがあり、入所時に個人情報保護についての契約書をもらっております。特に言葉使い、態度に注意するようカンファレンスで話し合っております。	スタッフミーティングでプライバシーや接遇について話し合っている。特に排泄介助時等プライバシーを害しやすい行為について、ケアの統一化を図るために重点的に協議している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者に合わせた声かけを行い、表情を読み取り、御利用者が御自分の意思で決定できるような配慮を行っております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者一人ひとりの態度や思いに配慮しながらその人のペースを大切にその人がしたいこと、出きる事を基本的な1日の流れの中で柔軟に対応を行っております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えは基本的に御本人の意向できめていただき自己決定のしにくい御利用者には必要時声かけ配慮をおこなっております。行事等化粧やおしゃれを楽しんでいただけるように支援を行っております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御利用者と共に調理や盛り付けを行い、職員と御利用者が同じテーブルを囲んで楽しく、食事できる雰囲気づくり大切にしております。献立を考える際御利用者の意見を参考にしつつ工夫しております。	職員は、食事を共にして話題を作り食事が楽しみの時間になるように取り組んでいる。残存機能を活かして、後片付け等可能な利用者が手伝う風景を見ることができた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取状況を毎日チェックし職員全員が共有できるようにしております。献立作成に栄養面でのアドバイスを管理栄養士にしてもらっております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けを行い御利用者にあわせて必要な支援を行っております。就寝時は義歯をお預かりし洗浄剤につけるようにし清潔を保っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意のわからない御利用者は時間や様子を見計らっておトイレにお誘いする事により快適に排泄して頂けるように支援しております。夜間は排泄パターンと睡眠のサイクルを考慮しチェックをおこなっております。	退院後の回復が悪く、介助が必要だった利用者が徐々にトイレでの排泄が可能となった事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操レクなどで活動性を高め、かつ1日1回ヨーグルトを食べていただき、献立に繊維質を多く取る工夫をしております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的な入浴の予定は決まっているが、そのつど御利用者のご希望に柔軟に対応している。入浴拒否の強い方は声かけ、対応の工夫その人に合わせた配慮をおこなっております。	入浴好きな利用者は、毎日入浴が可能となっている。主に、午後より入浴するがレクリエーション等を行う時には午前に入浴時間を変更して対応している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気の良い日は散歩や体操を外で行い、体内のリズムを整え活動性のアップを図っております。又、御利用者の体調や希望を考慮してゆっくり休息が取れるように支援しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が薬の内容を把握できるようにしており、また服薬時は御利用者にご手渡しや口に入れる等確実に服用されたかの確認をし、状態に変化が現れた場合は速やかに看護師に報告し医師の指示を仰いでおります。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御利用者一人一人の得意なもの、お願いできそうな事をして頂き、感謝の気持ちを必ずお伝えしております。外食や喫茶店、ホームでのお弁当など楽しんで頂ける事を御利用者様と相談しつつおこなっております。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩にお誘いし、御利用者様の御希望にあわせ外食、買い物、ドライブ、喫茶に出かけております。	利用者の気分や目的に応じて、個別に外出支援を行っている。また、ホーム全体で外食へでかけることもある。隣にはコンビニがあり、職員と共にふらりと出かけてお菓子を購入することも可能である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の御希望で小額のお金を持っておられる方もみえます。お小遣いを預かり、ホームにて管理している方でも、買い物時や外出時に御自分で払っていただけるように声かけや支援の工夫をしております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年年賀状や暑中お見舞いを書いていただき御家族や知り合いにお出しする支援をしております。又、御利用者の御希望に合わせてそのつど手紙やハガキを書いていただきお出しする支援も行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の飾りつけは御利用者と相談し御希望にあわせて職員と共に整作し季節感の感じられる工夫をしております。洗面所やトイレ内に、生花や造花を置き落着ける空間をつくっております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールや廊下に椅子を置き、居心地の良いくつろげる空間を作っております。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やベッドなど使い慣れた物をお持ちいただき、落ち着ける空間を作る工夫をしております。	今までで使ってきた馴染みの道具を自宅から持参して使っている。ホームの思い出や誕生日カード・家族の写真等、壁に飾って利用者が安心してくつろげるように支援している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御利用者一人一人の理解力を判断しつつ、不安なく生活できるように状況に応じてその都度環境整備に努めております。		

1 自己評価及び外部評価結果 (ききょう棟)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2191600010		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	愛の家グループホームみずなみ (ききょう棟)		
所在地	岐阜県瑞浪市西小田町3-122		
自己評価作成日	平成22年 7月25日	評価結果市町村受理日	平成22年10月 4日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaiqosip/infomationPublic.do?JCD=2191600010&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター		
所在地	岐阜県関市市市賀大知洞566-1		
訪問調査日	平成22年 8月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ききょう棟のビジョンを「笑顔と笑い声のある声かけを！」として掲げた通りに毎日、御利用者の 笑い声で一日が始まります。家事、行事、レクリエーション等を通して御利用者ひとりひとりに合わせた個別ケアを大切に寄り添いながら生活を楽しんでいただいております。又、御家族様との関係も大切に致しいつも冗談を交わしながらコミュニケーションをはかり対応させていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げ、毎日唱和し職員全員で共有しています。「あふれる笑顔で共にしあわせ！」をモットーにケアの実践をはかり地域との関わりを多く持ち安心して生活できるよう支えています。		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に散歩や買い物に出かけ挨拶を交わし会話を楽しんだり、畑の作物の収穫をおすわけし、差し入れして頂いたり、お話し相手に来られる方もみえます。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所や職員は事業所での実践ケア内容を踏まえ様々な研修や会合に関わり、認知症への理解と、ケアの啓発に努めています。小学生の社会活動、中学、高校生の実習の受け入れを積極的に行っております。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所からの報告、参加者からの質問・意見・要望を聞いております。また、評価結果を報告し、意見を頂くようにしております。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	小さな事故でも報告書の提出を行い、定期的に事業所の状態をお伝えし、施設見学をしていただいたりケアプランの相談をしつつ運営やサービスの質の向上、課題解決に向けての協議を行い交流を図っております。		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社としてマニュアルがあり、身体拘束についてカンファレンスや申し送りでも再認識をしています。玄関のリモコンは手の届くところにあり、状況の許す限り付き添って外出見守りを行っています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為についての認識を常に行い、虐待防止についての周知徹底を図っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	カンファレンス等で勉強会を行い職員の理解を深めるようにしております。又研修に参加し成年後見人制度について学ぶ機会をつくり対応が必要な時御利用者の支援ができるように努めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、特に料金関係、起こりうるリスク、事業所のケアに対する考え方や取り組み(医療連携体制等)について詳しく説明し、同意を得るようにしております。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御利用者の言葉や態度から思いを汲み取るように努め御利用者本意のサービスを心がけております。御利用者の不安や希望を理解し、思いに添えるようにユニットごとに話し合いの機会を設けております。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスを月1回行い、意見を聞く場に行っております。また、日ごろからコミュニケーションを図るように声かけを行い、職員の要望や意見を聞くようにしております。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会社は社員の日ごろの努力や実績勤務を把握し、表彰や金券の進呈を行い努力への評価を行っており、向上心を持って働ける配慮をしております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会や研修会開催の情報を職員に提示し、積極的に参加してもらい、得られた情報をカンファレンス等報告しております。会社の研修や随時行われ順番に参加しケアの質の向上につとめております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と連絡を取りつつ、運営推進会議や行事の参加、並びに運営やケアプランについての相談等行っております。他のグループホームの見学を通じて意見の交換を行いサービスの質の向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	他職種の方から情報を集めた後、御本人にお会いして心身の状態や思いが表出できるような声かけに勤め、御本人の入居の意思を必ず確認して、不安の軽減を図る工夫をしております。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御相談される御家族の思いを出きただけ理解し、ホームとして対応について事前にしっかり話し合う時間を設けております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、会社組織としてできることの可能性について提案させていただきます。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者とのコミュニケーションを大切にしその人らしい笑顔を大切に共に有意義な1日を過せるよう、努めております。又、協働作業を行う場面も多くもてるような工夫や声かけの配慮をしております。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は御家族の思いをできる限り理解させていただき、生活の中での出来事や相談などで情報の共有に努め御利用者と一緒に支えることができるように努めております。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの環境で過される時間を大切にし、なじみの友人や知人との交流もおこなえるよう動きかけております。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に御利用者からお話を伺ったり、相談にのったり、他の御利用者様を交えて楽しむ時間や、気の合うご利用者同士で過せる時間を作り、御利用者同士の関係が円滑にいくように動きかけております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご利用中に築いた関係性を基盤にしながら、長期に継続的なかわりを行っております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で言葉や状態から御利用者の思いや暮らし方の希望を把握し、理解されやすい質問で問いかける工夫をし、一人一人の思いを確認しその人らしさを失わないかわりに努めております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御自宅に訪問し、本人や家族から伺うようにしており、ご利用中も面会時などで少しずつ把握に努めております。又ユニット間で得られた情報は共有できるようにカンファレンス等で取り上げております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御利用者一人ひとり残存機能を活かすことを心がけ、その人の持つ見える強みを活かした働きをおこない、御利用者一人一人の全体像の把握につとめております。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者がその人らしく暮らせるよう御利用者や御家族の要望を聞き、他職種の意見も含めてユニットスタッフと共にカンファレンスで意見交換を行い介護計画作成にいかしております。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	関わった職員がそのつど御利用者個々のケア記録に残しており、職員が常に確認できるようにして、記録の情報共有を徹底しております。又記録で本人の状況の把握を行い介護計画の見直し、評価を実施しております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御利用者や御家族の状況に応じて通院や送迎など必要な支援を臨機に対して、個々の安心感を高めるようつとめております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	御利用者が安心して地域での暮らしを続けられるように、消防、民生委員、長寿会の方々と会食やお茶、行事等の参加を通じて地域交流を深めております。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医や、以前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、御家族と協力し、通院介助や訪問診療の対応を行い、複数の医療機関と連携をとりつつ支援しております。		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、医療連携体制のもと24時間、御利用者の健康管理や状態変化に応じた支援をおこなっております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーや口頭申し送りで御利用者の支援方法や情報を医療機関に提供し、頻回に職員が見舞うようにしております。御家族や医療機関と情報交換し回復状態を踏まえつつ速やかな退院支援を行っております。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における医療体制指針を作成し、入居契約時に説明をおこなっております。又、状態変化に伴いそのつど御家族、医師、看護師で話し合いをおこなっております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すべての職員が年に1回消防署主催の救急処置の講習会に参加している。又夜勤帯の緊急時対応についてのマニュアルを作成し、周知徹底を図っております。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年2回の消防訓練と地震発生時の避難訓練、夜間帯避難訓練を随時行っております。地域の協力体制については運営推進会議や民生委員を通して自治体に協力をお願いしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護のマニュアルがあり、入所時に個人情報保護についての契約書をもっております。特に言葉使い、態度に注意するようカンファレンスで話し合っております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者に合わせた声かけを行い、表情を読み取り、御利用者が御自分の意思で決定できるような配慮を行っております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者一人ひとりの態度や思いに配慮しながらその人のペースを大切にその人がしたいこと、出きる事を基本的な1日の流れの中で柔軟に対応を行っております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えは基本的に御本人の意向できめていただき自己決定のしにくい御利用者には必要時声かけ配慮をおこなっております。行事等化粧やおしゃれを楽しんでいただけるように支援を行っております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	御利用者と共に調理や盛り付けを行い、職員と御利用者が同じテーブルを囲んで楽しく、食事できる雰囲気作り大切にしております。献立を考える際御利用者の意見を参考にしつつ工夫しております。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取状況を毎日チェックし職員全員が共有できるようにしております。献立作成に栄養面でのアドバイスを管理栄養士にしております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けを行い御利用者にあわせて必要な支援を行っております。就寝時は義歯をお預かりし洗浄剤につけるようにし清潔を保っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意のわからない御利用者は時間や様子を見計らっておトイレにお誘いする事により快適に排泄して頂けるように支援しております。夜間は排泄パターンと睡眠のサイクルを考慮しチェックをおこなっております。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操レクなどで活動性を高め、かつ1日1回ヨーグルトを食べていただき、献立に繊維質を多く取れる工夫をしております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的な入浴の予定は決まっているが、そのつど御利用者のご希望に柔軟に対応している。入浴拒否の強い方は声かけ、対応の工夫その人に合わせた配慮をおこなっております。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気の良い日は散歩や体操を外で行い、体内のリズムを整え活動性のアップを図っております。又、御利用者の体調や希望を考慮してゆっくり休息が取れるように支援しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が薬の内容を把握できるようにしており、また服薬時は御利用者へ手渡しや口に入れる等確実に服用されたかの確認をし、状態に変化が現れた場合は速やかに看護師に報告し医師の指示を仰いでおります。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御利用者一人一人の得意なもの、お願いできそうな事をして頂き、感謝の気持ちを必ずお伝えしております。外食や喫茶店、ホームでのお弁当など楽しんで頂ける事を御利用者へ相談しつつおこなっております。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩にお誘いし、御利用者の御希望にあわせ外食、買い物、ドライブ、喫茶に出かけております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の御希望で小額のお金を持っておられる方もみえます。お小遣いを預かり、ホームにて管理している方でも、買い物時や外出時に御自分で払っていただけるように声かけや支援の工夫をしております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年賀状や暑中お見舞いを書いていただき御家族や知り合いにお出しする支援をしております。又、御利用者の御希望に合わせてそのつど手紙やハガキを書いていただきお出しする支援も行っております。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の飾りつけは御利用者と相談し御希望にあわせて職員と共に整作し季節感の感じられる工夫をしております。洗面所やトイレ内に、生花や造花を置き落着ける空間をつくっております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールや廊下に椅子を置き、居心地の良いくつろげる空間を作っております。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やベッドなど使い慣れた物をお持ちいただき、落ち着ける空間を作る工夫をしております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御利用者一人一人の理解力を判断しつつ、不安なく生活できるように状況に応じてその都度環境整備に努めております。		